



7/12

八地申

第3号

安全で働きがいを持てる八王子支社 を目指す申し入れの交渉を開催!!

2021年7月17日第25回定期大会を行いました。大会の中で代議員から出された現場実態や組合員の声をもとに申し入れをし、八王子支社と団体交渉を行いました。

申し入れ

- ① 会社発展のために、労使は団体交渉の議論経過を含めて労働協約を遵守すること。
 - ② 中央線グリーン車導入に伴う現在の計画の進捗状況・工事状況・導入後の費用対効果について社員に説明を行うこと。
- ・半導体の影響は車両の他にあるのか？
- ・12両化の根拠と目的は？
- ・安定的に経営を黒字化に寄与する施策であるのか？
- ・現場ではこの経営状況下で12両化を何のために行っているのか疑問の声が多数寄せられ、モチベーションも維持出来ない現状がある。施策を担っている社員への説明をするべきである。
- ③ 通常異動との違いを明らかにし「新たなジョブローテーションの実施について」は、丁寧なコミュニケーションを取ると共に、本人が描くキャリアプランを実現すること。また、異動先での教育・訓練体制をしっかりと確立し本人の不安が無くなるまで実施すること。

会社回答

- ① 議論経過を含めた審議誠実の原則に則り、「労使間の取扱いに関する協約(令和3年10月1日締結)」を遵守していく考えである。
 - ② 各駅の施工状況、大規模切り替え工事については予定通り推移しているが、半導体不足の影響を受けており、予定していたサービス開始が少なくとも1年程度遅れる見込みである。
- ・地上設備には影響はなく現在スケジュール通りに進んでいる。
- ・お客様のサービス向上を目的としている。
- ・収益を見込める施策である。
- ・必要な情報は引き続き発信し、説明を十分していく。
- ③ 社員の運用については、業務上の必要性に基づき、任用の基準に則り取扱っているところである。なお、引き続き必要な教育・訓練を実施していく。